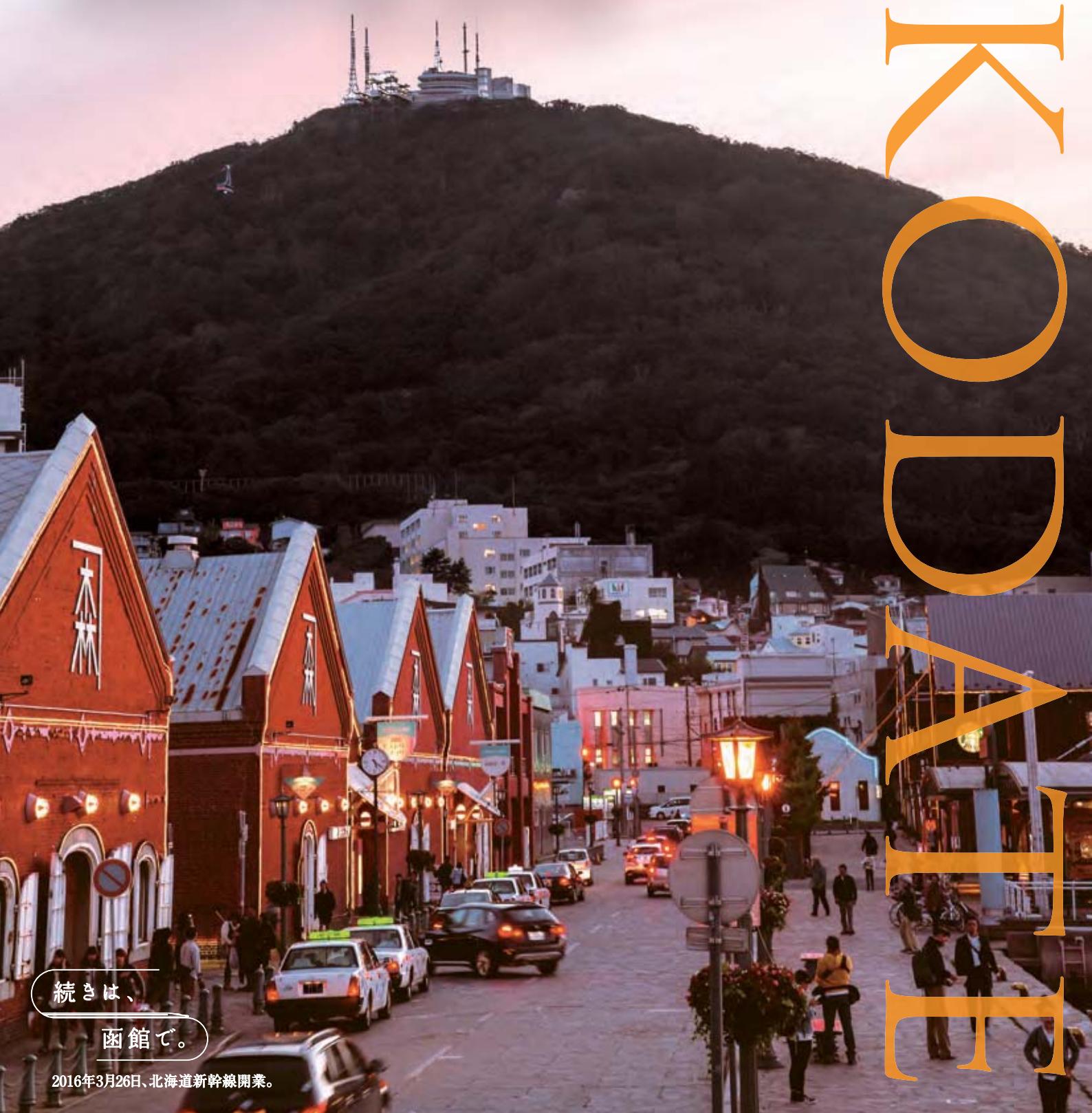


函館

HAKODATE TRAVEL GUIDE

旅時間

あなたの
“あの頃”に
出会う街



続きは、

函館で。

2016年3月26日、北海道新幹線開業。

HAKODATE

“あの頃”が
きっと見つかる。



「函館は、なぜだか懐かしい」

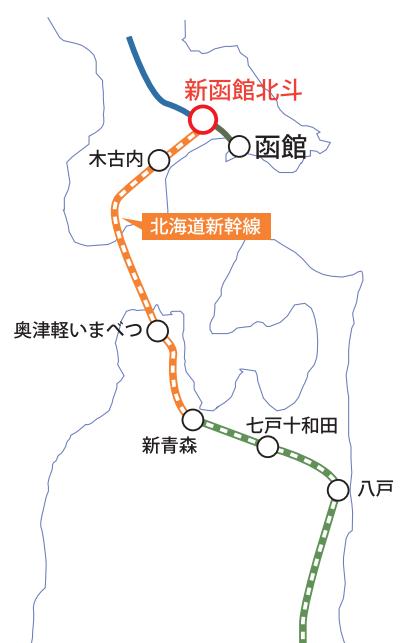
はじめてこの街を訪れた方々がよく口にする言葉です。

人々の心に眠る記憶の琴線に触れ、特別な時間が流れる街。

探していた“あの頃”が見つかる函館の旅へご案内します。

北海道新幹線開業で
函館が、ぐんと近くなりました。

2016年3月26日、北海道新幹線（新青森・新函館北斗間）
が開業。首都圏や北関東、東北との距離が飛躍的に縮ま
りました。あなたにぐんと近づいた函館へ。快適な旅を
お楽しみください。



あなたが探していた 函館なら、

CONTENTS

- 元町エリア 坂道の数だけ物語がある。 —— 4-5
- ペイエリア 海を渡って来た光の瞬き。 —— 6-7
- 五稲郭エリア 星が語り継ぐ箱館の歴史。 —— 8-9
- 湯の川エリア 祈りの大地と癒しの湯。 —— 10-11
- 函館山エリア 海峡を見下ろす豊かな緑。 —— 12-13

風の向こうにきらめく光。 —— 14-15

ルート278 海沿いに広がる眩い風景。 —— 16-17

PHOTO GALLERY —— 18-19

リノベーションの都 函館へようこそ。 —— 20-21

HAKODATE RENOVATION

お腹が空いたら函館へ。 —— 22-23

HAKODATE FOOD STYLE

もっと知りたい函館のこと。 —— 24-27

HAKODATE TOWN TOPICS

函館イベントスケジュール —— 28-29

EVENT INFORMATION

函館タウンマップ —— 30-31

HAKODATE TOWN MAP

スマホ・タブレットで動画をご覧いただけます。

① QRコードから無料アプリ「ココアル2」をダウンロード。
※App store/playで検索でもOK。

② ダウンロードした「ココアル2」を開いて誌面中の
ARマークのついた画像をスキャンしてご覧ください。

→ AR



Google play
QRcode.

函館に着いたならそこからは
ゆったりとした時間が流れます。

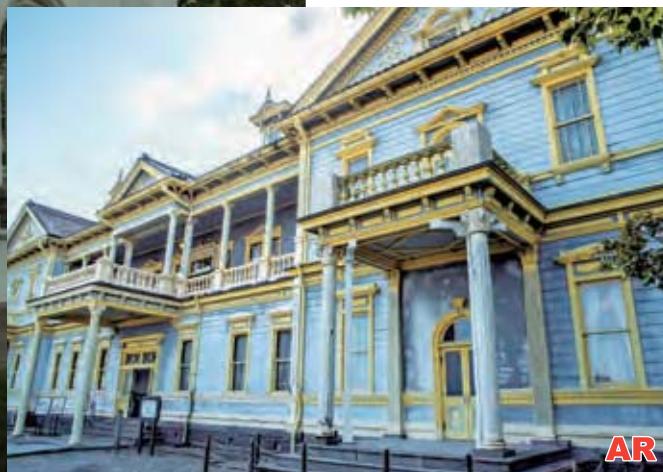
1897年に開業した亀函馬車鉄道をルーツとし、1913年に路面電車へ。それから実に100年以上に渡り運行する函館市電。街の大切な「風景」としても愛される存在です。市電に乗り、ゆったりとした時の流れを感じてください。

AR



坂道の数だけ物語がある。

ロマンとノスタルジーに満ちた函館を象徴する元町界隈。それぞれに異なる風情をもつ坂道、美しい教会群と歴史的建造物。どの坂を歩いても、まるで絵画のような風景が広がります。



函館ハリストス正教会 ①

港町函館のシンボル、かつ、日本正教会発祥の地。現聖堂は1916年建立。国の重要文化財。愛称『ガンガン寺』に由来する鐘音は日本の音風景百選。

元町3-13 ☎0138-23-7387



函館聖ヨハネ教会 ④

四方に突き出た建築様式は天から見れば十字架の形。歴史は1874年から、道内の聖公会では最古。現聖堂は1979年建立、礼拝堂はドーム型。

元町3-23 ☎0138-23-5584



カトリック元町教会 ②

創立は函館開港と同年の1859年。その後大火等で類焼し1924年に現在の姿に。大聖堂の祭壇は『火事見舞い』にローマ法王より贈られたもの。

元町15-30 ☎0138-22-6877



真宗大谷派 函館別院(東本願寺) ⑤

歴史のはじまりは4世紀前の1668年。現寺院は1915年建立、鉄筋コンクリート造りとしては日本最古で建築史的価値も高い。国の重要文化財。

元町16-15 ☎0138-22-0134



函館市旧イギリス領事館(開港記念館) ③

イギリス領事館としての歴史は1859年から1934年まで。建物内にはカフェや展示室があり、春から秋は洋式庭園も見所に。函館市指定文化財。

元町33-14 ☎0138-27-8159



旧ロシア領事館 ⑥

日本に唯一残る帝政ロシア時代の領事館。和洋混合の建築意匠は見応えあり。1906年竣工、1908年再建。見学は外観のみ。

船見町17-3 ☎0138-27-3333



元町公園 ⑦

眼下には函館港、振り返ると旧函館区公会堂、公園内には旧北海道庁函館支庁庁舎など函館の歴史を物語る建築物がある。8月上旬は、はこだて国際民俗芸術祭の会場にも。

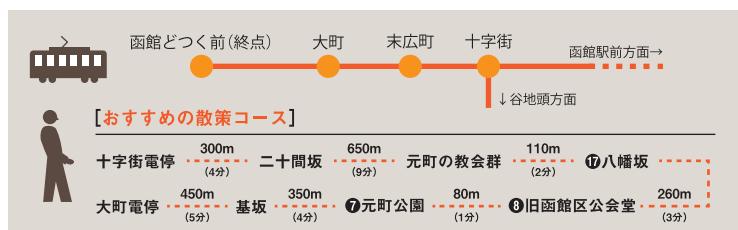
元町12 ☎0138-27-3333



旧函館区公会堂 ⑧

1910年築。左右対称のコロニアルスタイルが特徴。日本を代表する明治期の洋風木造建築の一つ。国の重要文化財。

元町11-13 ☎0138-22-1001



海を渡つて 来た光の瞬き。

輝く街並みときらめく光。ほのかな潮の香り。心地良い風。
海の街・函館を五感で味わえるベイエリアへ。
写真や映像以上、そして想像を超える風景が待っています。



はこだて明治館(旧函館郵便局) ①

1911年に建てられ、1962年まで郵便局として使用。1986年よりショッピングモールへ。外観の重厚な赤煉瓦から内部まで風格溢れる佇まい。

豊川町11-17 ☎0138-27-7070



函館市文学館 ②

1921年築の旧第一銀行函館支店を改装し1993年より文学館に。石川啄木など、函館ゆかりの作家たちの著書、直筆原稿や資料等を展示する。

末広町22-5 ☎0138-22-9014

函館市北方民族資料館 ⑤

函館博物館旧蔵資料や馬場コレクションなどアイヌ民族をはじめとした北方民族の資料を収蔵・展示。資料はどれも世界的に非常に価値の高いもの。

末広町21-7 ☎0138-22-4128



北海道第一歩の地碑 ⑥

函館が北海道の玄関口となった明治以降、下船した人々の上陸地であった東浜桟橋(旧桟橋)に、開港100年(1968年)の際、建立した記念碑。

末広町24 ☎0138-27-3333



相馬株式会社社屋 ⑦

旧相馬邸(5P)の主であった初代・相馬哲平が1863年に興した米穀商を基にし、今日に続く。現在の主業は不動産賃貸。社屋は1913年築。見学は外観のみ。

大町9-1 ☎0138-27-3333

海に浮かぶツリー

M E M O

『はこだてクリスマスファンタジー』期間中のみ金森赤レンガ倉庫群前の海上に現れる巨大ツリーは冬の函館のお楽しみ。モミの木は姉妹都市のカナダ・ハリファックス市より贈られ、毎年、冬の夜を美しく彩る。





函館港に浮かぶ人工島

M E M O ⑩

函館山やベイエリアを眺めてのんびりと過ごす、そんな函館時間にとっておきの場所。2013年にはGLAYの凱旋ライブの会場に。名称は『緑の島』。ジョギングや散歩にも。大町15



金森赤レンガ倉庫(金森洋物館) ⑨

函館第一の実力者と呼ばれた初代渡邊熊四郎が建てた赤レンガ造りの倉庫。現在はグルメや物販などを扱う観光スポットとして人気。

末広町14-12 ☎0138-27-5530

この海は明日へと続く

M E M O ⑪

新たな知識を海外に求め、国禁を犯してまでアメリカへ渡航した新島襄。そのブロンズ像は函館から密出国を果たした襄が小舟に乗り込み外国船に向かう姿を再現。末広町24



海峡をつなぐ物語

M E M O

1908年から80年に渡って函館と青森を結び、人々の足として、また、水産物などの物流を支えた青函連絡船。青函トンネルの開通により1988年に廃止へ。



JR函館本線

JR函館駅

函館駅前



観光遊覧船ブルームーン ⑫

函館港内を一周するペイクリーズと、函館山の裏付近まで周遊するナイトクリーズの2つを用意し、函館の街を海上から楽しませてくれる遊覧船。

末広町14-17 ☎0138-26-6161



函館市青函連絡船記念館摩周丸 ⑬

1908年～1988年まで活躍した青函連絡船。最後の日まで運航した摩周丸を当時の乗り場に係留・保存し、船内の見学や連絡船の歴史などを解説。

若松町12番地先 ☎0138-27-2500



函館朝市 ⑭

函館が誇る海産物を筆頭に約250軒の店舗が連なり、買い物やグルメを楽しむ観光スポットとして人気が高い。ルートは昭和20年、戦後の闇市から。

若松町9-19 ☎0120-858-313

星が語り継ぐ箱館の歴史。

かつて、激しい戦いが繰り広げられた場所がありました。長い時間をかけて、そこは四季の美しさをたたえる憩いの場所へ。語り継ぎたい歴史を持つ文化の中心街・五稜郭エリア。



① 北海道立函館美術館

常設展示は函館及び道南地方にゆかりの深い美術作品等、特別展では国内外の美術を紹介。松前町出身で日本を代表する書家・金子鶴亭の記念室も。

五稜郭町37-6 ☎ 0138-56-6311



② 函館市中央図書館

道南最大規模の図書館。一般書籍のはほか、1934年の大火後に全国から寄付された『罹災児童同情雑誌』など貴重な資料も保管(図書館内にて閲覧可)。

五稜郭町26-1 ☎ 0138-35-5500

④ 函館市芸術ホール

ホール舞台は音楽舞台と多目的舞台の二つに転換可能。コンサートをはじめ、演劇、絵画展など多彩なジャンルの芸術イベントを開催。

五稜郭町37-8 ☎ 0138-55-3521



⑤ 函館市北洋資料館

かつて函館の重要産業であった北洋漁業の資料を展示。時代は主に明治～昭和後期まで。漁船体験ができる北洋航海体験室もある。

五稜郭町37-8 ☎ 0138-55-3455



⑥ 箱館奉行所

幕末の北辺警備と対外折衝の重責を担った箱館奉行所の姿を再現した歴史的復元建造物。歴史探索など様々な体験を用意。

五稜郭町44-3 ☎ 0138-51-2864



正真正銘、地上の星

M E M O

今ではお馴染みの、上空からの五稜郭の姿。けれど、実際に目の当たりにすると誰もがその見事な星の形に思わず感嘆。設計は西洋式築城術を参考に、1864年からこのカタチ。

※ライトアップは12月～翌2月のみ実施。





五稜郭公園(特別史跡五稜郭跡) ⑦

江戸幕府により築造され、その後戊辰戦争最後の箱館戦争の舞台ともなった歴史的名所。掘をぐるりと巡る散策路はジョギングにも最適。

五稜郭町44 ☎0138-40-3605



桜色に染まる星

M E M O

歴史的価値が高く、観光客にも人気の五稜郭公園は、函館市民にとっては『お花見』の代表スポット。春には約1600本の桜が盛大に咲き誇り“星”も見事な桜色に。



女子校の重要文化財

M E M O

女学校では道内でも最も長い歴史を持つ遺愛学院。敷地内の旧宣教師館(通称ホワイトハウス)と本館は1908年築で国の指定重要文化財。ホワイトハウスは毎年7月末の3日間のみ一般公開。

杉並町23-11



この男抜きに 五稜郭は語れない

M E M O

五稜郭の歴史の中で最も有名と言っても過言ではない男、それは箱館戦争によって戦死した新撰組・鬼の副長、土方歳三。彼の軌跡を辿る旅人にとって五稜郭は神聖な場所になっている。



五稜郭 GORYOKAKU AREA エリア

函館大洋俱楽部と久慈次郎

M E M O

国内に現存する最古のクラブチーム、函館大洋俱楽部(1907年結成)で球聖として名を残す捕手・久慈次郎、野球界に名の通った久慈の銅像が函館オーシャンスタジアムにある。

千代台町22-26



千代台運動公園

⑨

千代台運動公園
中央病院前

遺愛学院

⑧

市電

杉並町

④

柏木町

9

②

五稜郭公園

⑥ ⑦

③

①

⑤

④

五稜郭公園前

中央病院前

千代台

遺愛学院

柏木町

9

祈りの土地と癒しの場。

開湯1653年。350年以上の歴史を誇る温泉街・湯の川温泉をはじめ、由緒ある神社や修道院、そして新たに誕生したアリーナ。何色にも染まらない、多彩な個性に溢れる街。それが湯の川です。



AR



函館アリーナ

2015年に完成したスポーツ大会、コンサート、コンベンションを開催できる多目的施設。収容人数5000人のメインアリーナ他、サブアリーナ、武道館等がある。

湯川町1-32-2 ☎0138-57-3141



函館競輪場

海に隣接し、潮風を感じながらスリリングな競輪が楽しめる。季節毎に家族向けの様々なイベントが数多く催され、アミューズメント要素も豊富。

金堀町10-8 ☎0138-51-3121



湯の川温泉足湯「湯巡り舞台」

通称「湯巡り舞台」。無料開放で、気軽に温泉の街・湯の川の魅力を体感できる。市電「湯の川温泉」電停から歩いてすぐ。利用時間は毎日9:00~21:00。

湯川町1-16-5 ☎0138-57-8988



JRA函館競馬場

2010年に全面リニューアルされた日本で最も歴史の長い競馬場。毎年6月の終わりから開催される函館競馬には全国から大勢のファンや家族連れが訪れる。

駒場町12-2 ☎0138-53-1021



函館市熱帯植物園

1970年に開園、翌年には「温泉に浸かるニホンザル」が見られる通称・サル山が誕生。その愛らしくユーモラスな姿は湯の川散策の名物のひとつ。

湯川町3-1-15 ☎0138-57-7833



湯の川温泉街

函館空港から程近い好アクセスも魅力の温泉街。歴史ある老舗旅館と現代的なホテルが混在し、開湯350年以上を誇る歴史の今と昔を堪能できる。



サルだって気持ちがいい
MEMO

湯の川温泉を楽しむのは、なにも人だけではない。毎年12月から5月にかけて、函館市熱帯植物園ではニホンザルが温泉に浸かり、愛嬌のある姿で人々を楽しませる。





函館空港

⑦

市街地との距離が非常に近いことで有名な空港。子供達が遊べる施設やものづくりをテーマにしたセレクトショップ、イベントホールなど周辺施設も充実。

高松町511 ☎0138-57-8881



湯倉神社

⑧

今から500年以上前、一人のきこりがこのあたりの地で湧湯を発見したという言い伝えから湯の川温泉発祥の地とされる場所。1941年に現在の社殿を造営。

湯川町2-28-1 ☎0138-57-8282



啄木小公園

⑨

函館と縁の深い詩人・石川啄木の座像がある公園。目の前には、21歳の啄木が物思いに耽けながら散策した大森浜が広がり、津軽海峡も見渡せる。

日乃出町25 ☎0138-27-3333



名勝旧岩船氏庭園(香雪園)・見晴公園

⑩

明治から大正にかけて成功を収めた呉服商・岩船家が市民に提供した大庭園。160種以上の樹木や、岩船家別荘の園庭など四季折々の美しい風景が広がる。

見晴町56



海を見下ろす牧場

M E M O

函館空港から程近く、緑豊かな丘に位置する函館酪農公社の工場と直営店「あいす118」。周囲は津軽海峡を見渡せる広大な牧草地帯で、新鮮な牛乳やソフトクリームが楽しめる。



**湯の川
YUNOKAWA AREA
エリア**



トラピスチヌ修道院

⑪

1898年、フランスから派遣された8人の修道女によって創立された日本初の女子観想修道院。修道女たちが作るマダレナケーキは土産品の定番。

上湯川町346



東海の小島の磯の白砂に…

M E M O

石川啄木が函館で暮らした期間は、明治40年の春から秋にかけての132日間と実は短い。しかし後年、彼は「死ぬ時は函館で死にたい」と手紙に残したほど、この街を愛していた。



トラピスチヌの天使たち

M E M O

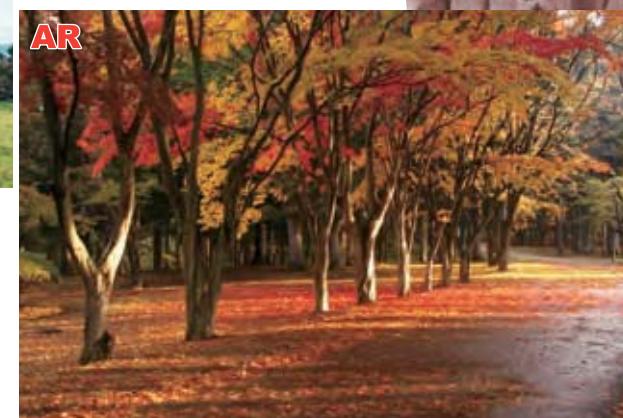
様々な彫像を見ることができるトラピスチヌ修道院。写真の「大天使聖ミカエル像」や左ページの「聖テレジアの像」、聖母マリアの彫像「慈しみの聖母マリア」等がある。



呉服問屋の残した庭園

M E M O

元々は呉服商・岩船呉服店の岩船ヤスとその家族の別荘地だった香雪園。ヤスの死後、二代目峯次郎(写真)や三代目峯次郎が、長い時間をかけて庭を育て、市民に開放した。



AR

海峡を見下ろす豊かな緑。

扇状に広がる街の、まさに要として鎮座するランドマーク・函館山。その山麓と山中、両方に美しい自然と動物たちが共存。そして山頂から望む唯一無二の絶景に、息をのむ瞬間が訪れます。



函館山ロープウェイ ①

函館山山麓～山頂までを約3分間で結び、ひとときの空中散歩を楽しめる。夜景になる時刻は同社HPに掲載、運行は10分間隔(混雑時は5分間隔)。

元町19-7 ☎0138-23-3105



千畳敷 ⑤

明治中頃から終戦まで函館山に築かれていた日本軍の要塞跡を残し、砲台などを見ることができる。登山道、展望台から散策可。北海道遺産指定。

函館山千畳敷 ☎0138-27-3333



旧函館博物館 ⑥

1879年、開拓使が「函館仮博物場」として開場、その後1966年まで使用。国内に現存する最古の洋風木造建築の博物館。見学は外観のみ。

青柳町17-5(函館公園内) ☎0138-23-5480



立待岬 ②

美しい海岸線と津軽海峡を一望できるビュースポット。冬季は車両通行止めで徒歩のみ。それ以外の期間でも夜8時～翌朝6時までは夜間通行止め。

住吉町 ☎0138-27-3333



市立函館博物館 ③

1966年開館。旧函館博物館の収蔵品をはじめ、自然科学、考古学、民俗、美術工芸など街の歴史に関わる貴重な資料を多数収蔵・展示する。

青柳町17-1(函館公園内) ☎0138-23-5480

伊能忠敬記念碑 ⑦

江戸時代、徒歩による実測で日本地図を完成させた伊能忠敬。蝦夷地測量は函館山を基点とし、これを記念して1957年に山頂へ記念碑を設置。

函館山山頂 ☎0138-27-3333



日本最古の現役観覧車

M E M O

函館公園内の遊園地『こどものくに』の名物は、国内最古の現役観覧車。もともと大沼湖畔にあったものを1965年に移設し、以来大勢の子どもたちを乗せ今も活躍中。

青柳町17-4(函館公園内)





碧血碑

⑧

新撰組・土方歳三をはじめ、箱館戦争で戦死した旧幕府軍約800名を供養するために建立した慰靈碑。6/25には碑前祭を行なう戦没者を供養する。

谷地頭町1 ☎0138-27-3333



石川啄木一族の墓

⑩

東京で病死した石川啄木が残した「死ぬときは函館で死にたい」という言葉をもとに建立した石川啄木とその一族の墓。墓石には啄木の短歌を記す。

住吉町16 ☎0138-27-3333



函館山の砲台跡(旧要塞施設)

⑨

1902年、函館山に津軽海峡守備のために建設された砲台や戦闘指令所、発電所、観測所などの軍事土木遺産。いくつかの要塞跡は散策路にて見学可能。

函館公園の歴史と動物たちの話

M E M O

造園は当時のイギリス領事による「病人に病院が必要なように健健康な人にも休養する場所が必要」との言葉がきっかけ。園内にはヤクシカやオオワシなど様々な動物がいる。

鳥獣保護区特別保護地域について

M E M O

プラキストンライン(津軽海峡の動植物の分布境界線)があり、約150種の野鳥を観察できる函館山は、鳥獣保護区特別保護地域に指定されている。



楽しみ方いろいろ 多彩なトレッキングコース

M E M O

恵まれた自然と334mの程良い高さから、気軽に登山を楽しめる函館山。登山ルートは10コースほど、どれも60分程度の行程。行きは登山、帰りはロープウェイという選択も。



函館山 Mt. HAKODATE AREA エリア



函館公園は桜の名所

M E M O

春には約420本の桜が一斉に開花し、五稜郭公園と並んで花見の名所として愛される函館公園。その時期は夜店も多く出店し、多くの花見客が訪れ、賑わいを見せる。



風の向こうにきらめく光。

かつてこの夜景を「宝石箱を開けた瞬間」と形容した人がいました。この街にしかない、この街でしか見られない絶景が目の前に。想像を遥かに超え、一生忘れられない体験をあなたへ。



はこだて明治館



金森赤レンガ倉庫群



東浜桟橋 (旧桟橋)



相馬株式会社社屋



函館中華会館



旧イギリス領事館



A PREMIUM SKY VIEW



旧函館開拓使函館支庁書籍庫

⑦



旧函館区公会堂

⑧



函館ハリストス正教会

⑨



函館聖ヨハネ教会

⑩



カトリック元町教会

⑪

函館市地域交流まちづくりセンター
(旧函館市末広町分庁舎)

⑫



函館市文学館 (旧第一銀行函館支店) ⑬



1990年から始まった西部地区的ライトアップ。現在は20カ所以上のスポットがあり、夜の街並みの美しさを楽しめます。各おすすめコースは「函館まちあるきマップ」をご覧ください。

函館山ロープウェイ

M E M O

函館山ロープウェイの乗り場から山頂までの所要時間は約3分。営業／始発10:00・上り最終21:50・下り最終22:00(10/16～4/24は上り最終20:50・下り最終21:00)。また、函館山登山バスならJR函館駅から山頂まで約30分(4月下旬～11月中旬まで運行)。なお、車での登山は冬期通行止めとなり、夏期も時間帯によって通行規制があります。詳しくは公式観光情報サイト「はこぶら」をご覧下さい。



OF HAKODATE AT NIGHT

海沿いに広がる眩い風景。



16



「日本の灯台50選」にも選ばれた恵山岬灯台

戸井 とい

津軽海峡に面した古くから漁業の盛んな地域。大間と並ぶブランド力を誇るクロマグロのほか、タコやブリなど津軽海峡の豊かな恵みが水揚げされている。そのほか、厳しい自然が造り上げた美しい海岸線も見どころ。



戦時中、鉄道路線「戸井線」を建設していたが、資材不足が原因で未成線となっている。この遺構は今でも多くの場所で見ることができる。

- ① 汐首岬灯台とアーチ橋
国道278号線沿い
- ② 汐首岬
- ③ 戸井ウォーターパーク
原木町285-1 ☎ 0138-82-2000
- ④ 道の駅[などわ・えさん]
日ノ浜町31-2 ☎ 0138-85-4010
- ⑤ 恵山つつじ公園
柏野町
- ⑥ 恵山岬灯台
恵山岬80-9
- ⑦ 川汲公園
- ⑧ 函館市縄文文化交流センター
白尻町551-1 ☎ 0138-25-2030
- ⑨ 道の駅[縄文ロマン 南かやべ]
函館市白尻町551-1
☎ 0138-25-2030
- ⑩ ホテルひろめ荘
大船町832-2 ☎ 0138-25-6111

恵山 えさん

古くから信仰対象とされ、道立自然公園にも指定されている恵山の裾野に広がるエリア。恵山側には初夏に美しいツツジが咲き誇って人々の目を楽しませる。



椴法華 とねほっけ

漁師町・椴法華には、海に隣接した「水無海浜温泉」があり、眼前に海原が広がる雄大な景色と泉質で心身ともに癒してくれる。



南茅部 みなみかやべ

昆布の中でも最高級品として知られる「白口浜真昆布」の産地であり、北海道沿岸で広く行われている大型定置網漁の「大謀網」発祥の地として知られる漁業の街。『函館市縄文文化交流センター』も大きな見どころのひとつ。



博物館「函館市縄文文化交流センター」(上)と川汲峠の紅葉(左)



【自動車】

- 函館→大沼 約40分
- 函館→松前町 約2時間
- 函館→江差町 約1時間30分
- 函館→新函館北斗駅 約30分
- 函館→鹿部町 約1時間
- 函館→奥尻町
(江差よりフェリーで)約2時間20分
(函館より飛行機で)約30分



畑から現れた国宝

M E M O

1975年、旧南茅部町で偶然発見されたのが、後に北海道で初めて国宝に指定された中空土偶の「茅空(カックウ)」。信仰や祭祀などに使われていたと考えられ、縄文時代の文化を示す貴重な文化財とされている。発掘されたオリジナルは「函館市縄文文化交流センター」で常設展示中。



函館市所蔵／函館市提供

ひと足伸ばして海へ、山へ。

P I C K U P

ほくと
北斗市



さまざまな場所で咲き誇る桜や、荘厳な風景を見せてくれるトラピスト修道院。また米どころであり漁師町である地域の味覚も多彩。四季を通じて魅力に溢れる地域。

きこない
木古内町



北海道新幹線・木古内駅開業で熱気を帯びる町。それに合わせて誕生した「道の駅みぞぎの郷 きこない」も新たなグルメ＆ショッピングスポットとして注目的。

まつまえ
松前町



北海道最南端の松前町は、道内唯一の城下町としても知られている。松前公園は桜の名所としても有名で、約250種、1万本の桜が4月下旬から5月中旬にかけて咲き誇る。

しかべ
鹿部町



大地の息吹を感じる名所・間歇泉をはじめ、一年中多彩な旬が楽しめる海の幸も魅力。また、駒ヶ岳の裾野に広がる各種リゾートも豊富な海と山に囲まれた地域。

えさし
江差町

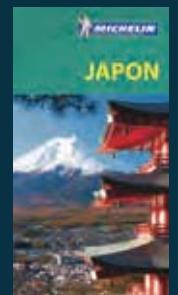


「江差の5月は江戸にもない」と謳われるほど、鰯漁で繁栄を極めた江差町。当時の繁栄を伝える鰯御殿のほか、幕末に活躍した開陽丸など、歴史を感じる見どころが多数。

世界が魅せられた街。
29の星が輝く
函館の美しき風景。

函館の多数の観光スポットが
「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」にて
「星」とともに紹介されています。



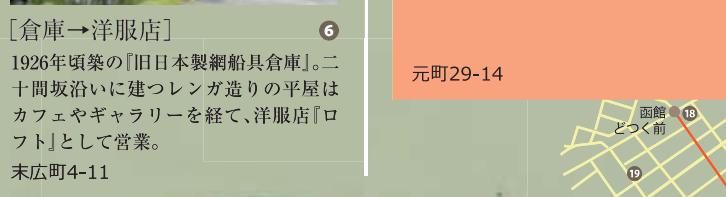


●2011年の『ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン』(改訂第2版)にて、「函館山からの眺望」が三つ星、「旧函館区公会堂」「元町の坂」等が二つ星に輝く等、29もの星と21のスポットが掲載されました。

HAKODATE RENOVATION

函館
リノベーション
物語

西洋文化の広がりの中で生まれた明治～昭和初期のモダン建造物。それらは今、当時の姿を残したまま生まれ変わっています。



リノベーションの都 函館へようこそ。

[百貨店→市民施設] ⑧

1923年築。かつての十字街エリアのランドマーク『旧丸井今井百貨店』を、2007年、市民施設「函館市地域交流まちづくりセンター」として甦らせた。

末広町4-19

函館へ。



時を超えて受け継がれる
函館だけの味。

スルメイカは餌を求めて北上し、津軽海峡付近で成熟期を迎える。だから函館のイカは美味しい。そして、函館では上質な素材を使ったさまざまな加工のノウハウを蓄積してきた。地の利と歴史が築き上げた函館ならではの味をぜひ。



津軽海峡のまぐろが
おいしい理由。

「まぐろの赤身はイカで美味しいなり、トロは青魚で美味しいなる」と言われているが、イカの好漁場である津軽海峡は、イワシの好漁場でもある。豊富で上質な餌と、激しい潮流で、津軽海峡のまぐろはますます美味しいくなっていく。



函館の市場には
北国の新鮮な海の幸が
集まります。

東北・北関東へ向けた流通の拠点であり、一大観光地を抱える消費地でもある函館には、道内の多彩な海の幸が集まる。イカ、まぐろ、鮭、ブリ、ホッケ、タラ、ウニ、アワビ、エビなど。産地であり集積地である『海鮮都市』の実力を味覚でお楽しみあれ。



お腹が空いた。おいしいものが食べたい。
それが旅への動機になるほど、函館の食文化は豊か。
そのおいしさには、歴史と理由があるんです。

HAKODATE F

お腹が空いたら



海産物はもちろん、
南北海道は野菜やお米が
おいしい農業の街でもある。

最高評価の特Aを獲得した「ふっくりんこ」。
「たまふくら」「王様しいたけ」などブランドを確立した产品。南北海道の多様な農業がつくり出した味を楽しめる。

牛乳がおいしいと
アイスクリームやチーズが
おいしくなる。

南北海道特有の涼しい気候が育む、良質な土と牧草。それは牛乳の美味しさにも直結している。アイスクリーム、チーズなど、乳加工品の味も函館ならでは。

海を超えてやってきた
洋菓子文化。

函館の開港は1855年。長い時間異国文化と接してきた函館は、街並み、食などあらゆる場面に多様な文化が入り込んでいる。それを顕著に感じられるのが洋菓子文化。江戸時代末期には函館市内に西洋料理店が開業するなど、いち早く洋菓子文化が根付いて発展を重ね、現在の華やかなスイーツにつながっている。



函館ラーメンはなぜ塩味？

函館は開港で異国文化を多く取り入れたが、それは西洋のみならず、中華料理を取り入れることにもつながった。コクとキレを両立させた無色透明のスープ。函館を代表する味となった塩ラーメンは、「新しもの好き」気質がつくり上げた味かもしれない。



O O D S T Y L E

函館のこと。 もっと知りたい。

函館の魅力は、異国情緒溢れる街や夜景、グルメにとどまりません。知れば知るほど見えてくる、函館のディープなおもしろさ。

HAKODATE TOWNS TOPICS

時代を越えて愛される 1914年創業の湯加減

“ウチ風呂”の普及前であり、北洋漁業の発展と元町エリアの繁栄があった、その時代から100年を超えて続く『大正湯』。お湯と函館ノスタイルの両方に浸れる老舗銭湯だ。



番台に座る3代目の小武典子さん。営業は15時から21時、月金は定休。函館市弥生町14-9



「珈琲文化発祥の地」の 真偽はともかく、 函館には珈琲店が多い

1856年に箱館奉行が薬として珈琲を扱っていたことから、一説には函館が北海道における『珈琲文化発祥地』であるらしい。それを示すかのように、函館には喫茶店、カフェ、珈琲豆販売の店が多い。すなわち、美味しい一杯に出会う確率が非常に高い。街中で見つけた際は、是非コーヒーブレイクを。写真是1932年に函館で最初に焙煎珈琲を提供した鈴木商店（現・函館美鈴）開業時。



函館初の焙煎機は函館美鈴大門店で展示中（函館市松風町7-1）。

月光仮面

函館駅前・グリーンプラザには、日本ヒーロー番組の元祖『月光仮面』の像が立つ。これは1974年、同プラザ造成を記念して、函館出身で月光仮面の原作者である川内康範氏により寄贈されたもの。像の台座には月光仮面のテーマ『憎むな殺すな赦しましょう』の言葉が刻まれている。一風変わった函館名物、こちらも是非ご覧あれ。

東北以北最古 手動式エレベーターの 乗り心地

1923年創業の丸井今井呉服店函館支店（現・函館市地域交流まちづくりセンター）の建物にある『手動式エレベーター』は現役で稼働するものとしては東北以北最古のもの（設置は1934年）。その乗り心地は…、スタッフに申し出で是非体感してみては。

函館市末広町4-19



手動エレベーター体験はセントラルスタッフが解説付きでサポート。



焼き鳥なのに豚肉、 という件について

函館で「焼き鳥」と言えば豚精肉が一般的。この理由は、かつて街に多く存在した養豚場の数に由来する。安価で手に入りやすく、エネルギー源としても申し分ない豚肉が広く浸透し、今日までその文化が根付いてきた。函館グルメを楽しむ際は“函館の焼き鳥”もお忘れなく。



上は洋風、下は和風という 函館の街並み

元町エリアの景観に趣を加えている和洋折衷様式の建築物は、開港後に多くの外国人たちが函館にやってきた証。彼らが函館の大工たちへ西洋の建築技術を伝えたことが誕生の背景にある。また、明治の頃は外国に対して近代都市であることをアピールする方法のひとつに上下和洋折衷様式が採用され、函館の街並みに一階が和風、二階が洋風というハイカラな建物が続々と誕生。特に、明治40年の函館大火後に多くの上下和洋折衷様式の建築物が建てられている。開港都市函館ならではの異国情緒はこうして形成され、現在はその保存活動も広く展開されている。



函館のウエストサイズは 1000メートル

函館の景色を美しく見せる津軽海峡と函館湾の曲線。この二つの線の最短距離はわずか1000mほど。“くびれ”を結ぶ通りは『一キロ通』の標識が設置され、ディープな函館観光の撮影場所に人気とか。



運が良ければ見られる!? 迫力満点の進水式

世界の海で活躍する船の建造などを手掛ける『函館どつく』(弁天町20-3)。ここでは約2か月に一度、船が半分ほど完成したところで進水式を開催する。しかもその規模は東京以北最大級。ごう音を轟かせて船が進水する様子、旅程と合えば是非見てほしい。式の情報は都度同社HPにて公開中。進水式と共に船の命名式も行う。



日本の音風景100選。 ガンガン寺の鐘の音。



函館を代表する建築物のひとつ、「函館ハリストス正教会」は“音”でも有名。その鐘の音から「ガンガン寺」の愛称を持っているほどだが、1996年には「日本の音風景100選」の認定も受けた。その音色は土曜の17時と日曜10時、八角形の鐘塔から約3分～5分間に渡って付近一帯に時を知らせる。

「旅の恥はかき捨て」ということで 舞踏会の貴婦人になりきってみる

古き良き時代の雰囲気を今に伝える旧函館区公会堂(元町11-13)を背景に、舞踏会のようなドレスや燕尾服を着て記念撮影はいかがだろう。衣装は公会堂内のハイカラ衣装館にて1着1000円で貸出中。サイズは大人～子どもまで、家族全員で貴族になれる。



「函館の奥座敷」と呼ばれた頃の 湯の川温泉街の話

明治から昭和中頃までの「湯の川温泉街」は、歓楽街として名を馳せる賑やかな花街だった。大正はじめに発達した路面電車が温泉地・湯の川と函館の中心地を近づけ、地元の名士、北洋漁業の成功者たちが通うことで大勢の芸者が集まり「函館の奥座敷」と称されるまでに成長を遂げた。

函館の市電を守り続ける 7人の侍たち

1897年に運営開始した馬車鉄道を前身とし、100年を超える歴史を持つ函館市電。その裏方として活躍するのが「NPO法人 函館市電の熟練工の技を伝える会」。市電の修理・加工技術の次世代継承を目的に、市電OBを中心とした7人の熟練工が集結。路面電車の未来を担う陰の立役者たちだ。



イカール星人は今日も 元気に暴れまわる

宇宙観光都市ハコダテの侵略をもくろむイカール星人が暴れまわる特撮ムービー『ハコダテ観光ガイド イカール星人襲来中』。全国的にも「かつてない観光PR動画」として注目を集めている。過去作はYouTubeで観られるほか、DVDとBlu-rayも発売中。

暴れるイカール星人に対抗して、五稜郭タワーや市役所等がメカに変形するのも見どころ。

© Nekonote-Do/SW

2015年夏完成。「GLAY」がこけら落とした新名所「函館アリーナ」はこんな場所です。

40年に渡って市民に親しまれた函館市民体育館が、2015年夏に全面改築されて生まれ変わった。その名は『函館アリーナ』。最大約5,000人収容可

能なメインアリーナやサブアリーナがあり、各種スポーツ大会だけでなく、コンサートや大規模コンベンションも開催できる多目的施設となった。函館出身のロックバンド『GLAY』がこけら落とし公演を行

い、2日間の開催で両日とも超満員。これまで会場規模や設備の事情で実現しなかったイベントやライブが、今後ここで続々と行われる可能性も高まり、期待が寄せられる。



AR

映画や小説、ドラマにCM…。今も昔も函館は物語の舞台だった、という話

これまで多くの映画人や作家が函館に魅せられ、その作品の舞台に選んだ。映画では小林旭主演『ギターを持った渡り鳥』、高倉健主演『居酒屋兆治』、深作欣二監督作『いつかギラギラする日』etc、その数は70本

を超える。また文学においても函館出身の佐藤泰志『そこのみにて光輝く』、司馬遼太郎『菜の花の沖』、小林多喜二『蟹工船』、五木寛之『海峡物語』等、挙げだすとキリがないほどだ。



2015年で21回目を数え、冬の風物詩となっている『函館港イルミナシオン映祭』。函館山山頂などで3日間開催され、多彩な日本映画上映や俳優・監督らのゲストトーク等で盛り上がる。また一般公募による『シナリオ大賞』も同時開催され、これまで6本の最優秀作品を映画化。全国から注目を集めるイベントとなっている。また五稜郭地区には大勢の市民出資のもとに誕生した市民映画館『シネマアイリス』があり、映画ファン垂涎の作品をセレクトして上映している。

「はこだてフィルムコミッション」公式サイトでは、これまで函館が舞台となった映画のロケ地をHP上で公開中。[「はこだてフィルムコミッション」](#)で検索し、サイト内「ロケ地マップ」のページへ。

もつと、もつと知りたい

函館のこと。

HAKODATE TOWN TOPICS

今も現役! 日本で2番目の近代水道

開港以来、貿易都市として急速な発展を遂げた函館。当時、最も都市化が進んだ西部地区に大きな水場がなかったこともあり、明治から本格的な水道設計画が進められた。1879年、アメリカ人技術者のJ・U・クロフォードが作成した近代水道計画を下敷きに、1887年にイギリス人技術者のH・S・パーマーが最終計画書を作成。2年の工期を経て、横浜に次ぐ日本で2番目の近代水道が完成した。水道管や配水ルートこそ当時とは異なるが、その設計思想や施設の多くは120年以上経った現在でも変わらない。



上は亀田川の水が元町の配水池に初めて注水された時の写真。右は120年使われ続けている現在の元町配水場管理事務室。

ドイツ人食肉加工職人 カール・ワイデル・レイモン



日本人がハム・ソーセージを口にする機会など無かった大正時代の半ば。ドイツからやってきた一人の男が宣教師の役目を担った。それが食肉加工職人のカール・ワイデル・レイモン。1919年、東洋缶詰からハム・ソーセージづくりの指導を頼まれたレイモンは、翌年函館へ。その後、この街に自らの店と工場を構える。それから100年。レイモンの思想と技術は、元町の現店舗でしっかりと引き継がれている。



じゃがいもの とっておきの食べ方 これが函館スタイル

どこの居酒屋にいってもメニューに載っている定番料理「じゃがバター」。しかしここ函館の場合、これにいかの塩辛を添えるのがボビューラーな食べ方。どうかぜひ一度試していただきたい。一度味わったら忘れない、バターが溶けないと塩辛の抜群のコンビネーション。冷えたビールと一緒にどうぞ。

旅の思い出に。 道南が誇る二大駅弁

こちらの地方を旅で訪れたなら、まずは食べてほしいものがある。それは長万部町が生んだ駅弁の雄であり、誕生から65年の大ベストセラー品「かなや」のかにめし。そして森町が生んだ日本一の駅弁・「阿部商店」のいかめし(全国駅弁大会で計48度の販売数全国一位獲得)。これらもまた南北海道が誇るソウルフードなのだ。※写真は、かつてのかなやの駅構内での販売風景。



たかが電柱、されど電柱

函館は「日本最古」「北海道最古」のものに溢れる街。これもそう。1923年に建てられた日本最古のコンクリート電柱だ。明治から大正にかけて大火が相次いだことが背景となり、旧北海道拓殖銀行が資金を提供して造られた。もちろん今も現役である。現存地／函館市末広町15-1



たかが消火栓、 されど消火栓

時折、観光客の女性が「なにコレかわいい〜」と写真を撮るものがある。街のシンボルのひとつ・黄色い消火栓だ。正式名称は「函館型三方式地上式消火栓」と見た目わりに少々カタい。黄色のボディカラーは「いざ消防隊が実用する際、目立つように」という理由から。



AUTUMN



WINTER



[はこだてグルメサーカス]

函館最大級の食のイベント。函館・道南のみならず、全国各地のご当地グルメが大集合。新鮮な海の幸、山の幸、特産品が味わえる。

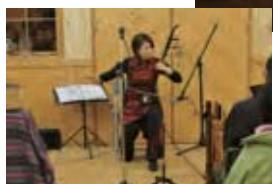
[9月上旬～中旬]



[はこだて MOMI-G フェスタ]

日本式庭園・香雪園は、函館を代表する紅葉の名所。夜間は美しくライトアップされ、昼とは異なる幻想的な雰囲気を堪能できる。

[10月中旬～11月上旬]



[はこだてスイーツフェスタ]

北海道物産展でも人気の「函館スイーツ」が大集合。人気スイーツはもちろん、新作や期間限定スイーツも登場。会場は甘い香りに包まれる。

[10月の金・土・日曜日]



[龜田八幡宮例大祭]

9月中旬

[はこだてカルチャーナイト]

10月第1金曜日

[南かやべとことん浜味祭り]

10月第2日曜日



[函館西部地区バル街]

現在、全国各地で行われるバル街イベントの発祥となったのがこちら。風情溢れる旧市街の多彩な店をめぐり、一夜限りのピンチヨスと酒を食べ呑み歩く。いまや全国から人が訪れる人気イベント。



[年2回・4月と9月に開催予定]

問合せ／0138-56-1570
(レストランバス内、同実行委員会)

写真提供／函館西部地区バル街実行委員会



[函館山カウントダウンスペシャル]

12/31

[函館海上冬花火]

2月中旬

[シーニック de ナイト]

2月上旬～中旬

[恵山ごっこまつり]

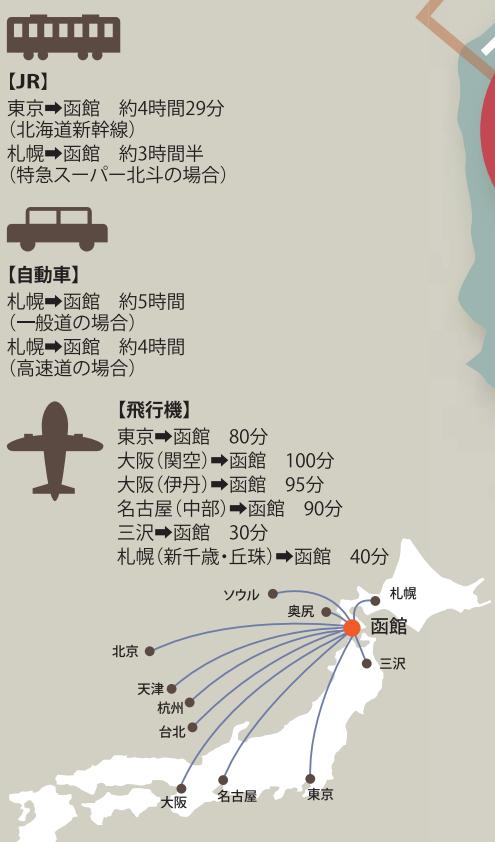
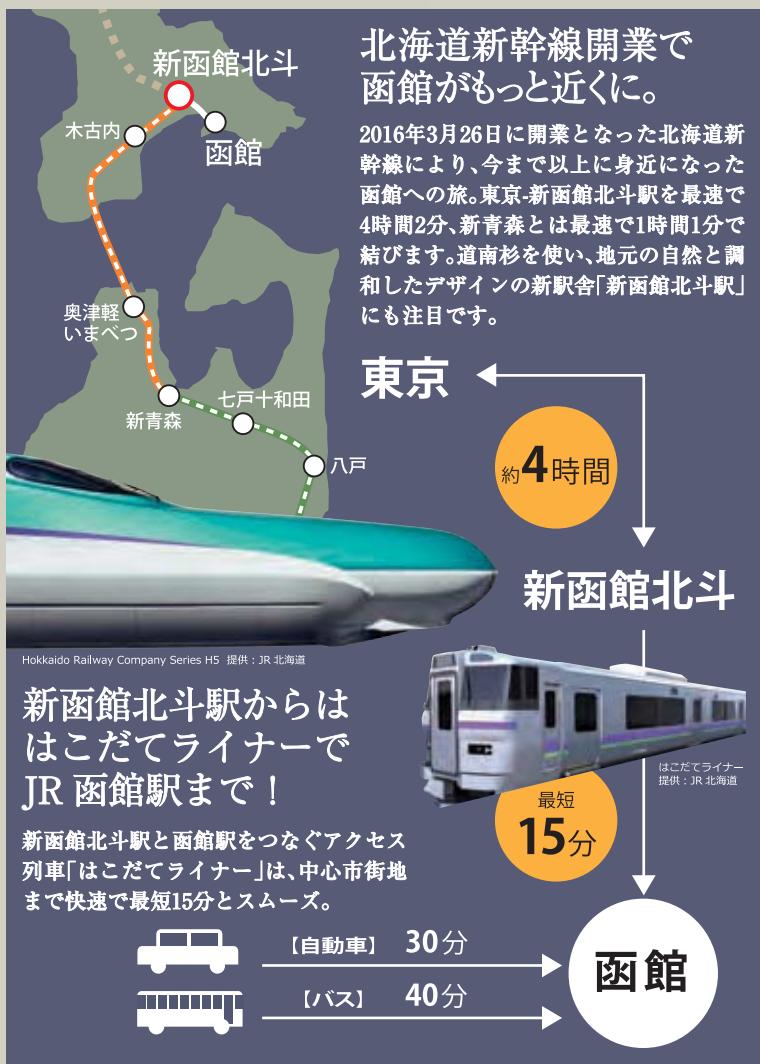
2月上旬

[みなと
函館港イルミナシオン映画祭]

多数の話題作が上映される3日間。
シナリオ大賞受賞作品が何度も映画化されるなど、全国の映画ファンも注目の「映画をつくる映画祭」。



[12月上旬の金・土・日曜日]
問合せ／0138-22-1037
(同映画祭事務局)



HAKODATE

函館

HAKODATE TRAVEL GUIDE

旅時間



TELEPHONE INFORMATION

【函館市観光案内所(JR函館駅舎内)】

函館市若松町12-13 ☎0138-23-5440

【函館市元町観光案内所】

函館市元町12-18 ☎0138-27-3333

【(一社)函館国際観光コンベンション協会】

函館市元町33-14 ☎0138-27-3535

【函館市観光部】

函館市東雲町4-13 ☎0138-21-3323・3383

INTERNET INFORMATION

【函館市公式観光情報サイト“はこぶら”】

<http://www.hakobura.jp/>

【(一社)函館国際観光コンベンション協会公式サイト】

<http://www.hakodate-kankou.com>